

AREA 2

H-7

くち
久々知



杣山を管理する古代の氏族・久々智氏の居住地だったという説があります。杣山（そまやま）とは、木材にする木を植えた山のこと、猪名川や武庫川の舟運により上流で切り出された木材がこの地に運ばれ、集積・加工していたとも伝えられます。

H-6

いざくしんしゃ
伊佐眞神社



尼崎で唯一の式内社。(10世紀醍醐天皇の時代に格式ある神社として延喜式神名帳に記された神社)境内にある五輪塔は室町時代の武將、赤松円心の墓との伝承があります。近松公園の北側。

【必勝祈願】【厄除開運】

H-7

しもさかべ
下坂部



地名に含まれる「坂部」は、当時この地にお酒に関わる場所があったから「酒部」とも、中世に雀部（ささべ）氏のお寺がありそれが変化して「さかべ」と呼ばれた、とも言われています。

JR 尼崎駅の北から近松公園へ歩くなら下坂部商店街を抜けると便利です。

AREA 3-1

G-10

まきびこじんしゃ
吉備彦神社



遣唐使の吉備真備が、唐から持ち帰った土を埋めた所が、現在の吉備彦神社の場所であると、江戸時代の撰津国地誌「摂陽群談」に記されているそうです。

H-10

てんましんしゃ
天満神社



菅原道真が大宰府に左遷される途中、天満神社で宿を取り、あたりを散策した際に砂のついた足を洗ったと伝わる「足洗乃池」があります。学園の神としても有名です。

H-8

しおえ
潮江



奈良時代に東大寺が所有した荘園「猪名荘」は当時、川や海だったこの地に堤防を築き土地が作られたため、海に関連する地名が多く残ります。この地は海の「塩」「潮」と入江の「江」が由来と言われます。アミダ潮江、コア潮江、ココエの名が今に息づいています。

J-8

つぎや
次屋



地名の由来は不明ですが、戦国時代初期、このあたりを主戦場とする戦いを描いた「細川両家記」に次屋が登場します。尼崎から京都へは一両日で到達できるため、京都を支配する勢力は最前線の尼崎で敵を撃破すべく、しばしば戦場となりました。

J-8

かんざき
神崎



その昔、神功皇后が新羅へ向かう時に神を祭った「神前松原」がここ神崎と言われ、西国と畿内を結ぶ要所でした。近くには讃岐へ流される途中に立ち寄った、僧の法然に念仏を授けられ、川に身を投げた遊女を葬ったと伝わる遊女塚があります。

G-11

おおものぬしんしゃ
大物主神社



口伝として、大物主神をおまつりすること、大きな建材(材木・石材)の集積地だったことから「だいもつ」と名付けられたとも。源義経はこの大物浦から都落ちしたと言われます。江戸期の特産「汁醬油発祥之地碑」があります。

【心願成就】【立身出世】

お立ち寄り

近松記念館



H-7

近松門左衛門の墓が隣の広濟寺にあり。記念館は近松翁が使ったと言われる文机など約100点を展示。入館料要。06-6491-7555

山田茶園
ちかまつロード



H-6

JR 塚口駅東～コープ近松店南の道。中間点の山田茶園の銘茶「近松の郷」が絶品。0120-41-8806

かんろえん
甘露園 コア潮江店



I-9

銘茶「尼崎散歩」には、金楽・大物、武庫、近松の戯など地名がついています。06-6499-4464
阪神尼崎駅尼センには、茶カフェ「桜里」もあり。

G-13

はつしま
初島



江戸時代より、芦茂る島々、白砂つらなる青松などの景色は、歌枕として歌人に「浦の初島」と歌われました。室町時代の世阿弥の能「芦刈」や祇園祭の鉾「芦刈山」に登場する「芦を刈る男の住む難波の浦」は浦の初島だったと言われています。